



TOUR atelier m4

2018.8.3 (fri) 13:00-17:30

カラマツ利用をデザインする、
標高 1350 メートルの家具工房へ。



木をつかう社会の仕組みを作る、が合言葉の一般社団法人ソマミチが開催するソマミチツアー。今回は atelier m4 inc. を訪ね、カラマツをつかった家具について、知っていただきます。

ツアーの前半は工房周辺のカラマツ林、製作工程やカラマツ利用のノウハウを、後半は代表前田大作の「家具実験所兼自宅」へ移動して実際のカラマツ家具をご覧ください。

このツアーは、特に設計士さんや工務店さん、カラマツ家具の購入を検討されるユーザーさんのために企画しました。

カラマツの木工に取り組んで10年を経た m4 が、近年実践しているカラマツの使い方、事例、クライアントの反応などをお話しますので、新しい針葉樹利用の時代への道筋について共に考えていただけたらと思います。

ツアー詳細は裏面へ

TOUR program & information



①わざわざカラマツを利用する意味。

加工しづらいカラマツ材を使う意味とはなんでしょうか。ここ数年、ナラなどの良材が枯渇し家具用国産広葉樹の入手が困難になりました。そのため全国各地で国産針葉樹の家具づくりがトレンドとなり、信州でもカラマツの家具利用について取り組む時期がきています。

②カラマツの欠点の解決方法の現在。

カラマツの利用を経験されたことのある方ほど、ソリやヤニに苦労して「嫌な過去」をお持ちではないでしょうか。現在、高齢カラマツの増加と乾燥技術により状況は改善されています。このツアーでは最新のカラマツ利用例について知っていただけます。photo: K 邸（設計 山本寛之）のドア工事



③カラマツを選ぶことから始まる話。

建築空間において、設計や素材と同じように家具や什器の選定にも意味があります。最近ではユーザーの素材への関心も強く、ダイニングテーブルやキッチンなどの家具には素材や背景への想いを象徴的に表現する役割も期待できます。photo: A 邸（設計 宮坂直志）のキッチン

④カラマツ作られた最新の空間事例。

ダイニング、リビング、キッチン、ベッドなどの家具に始まり、フローリング材、外壁材、構造材に及ぶまで。m4 代表前田大作の自邸（設計：田辺雄之 2016 年グッドデザイン賞受賞）はカラマツ利用の実験施設。ツアー後半にご案内いたします。

tour attendant



アトリエ・エムフォオ株式会社
代表取締役 前田 大作
松本市入山辺を拠点に、オリジナル家具の製造販売、各種デザイン業務を担当しています。ソマミチの活動を通じて、地域木材の加工、流通の情報発信に取り組んでいます。



株式会社柳沢林業
代表取締役 原 薫
多様な山づくりとそこから得られる山の恵みによる豊かな暮らしを創造していきます。共感して下さるファンとつながりながら、自然とともに暮らすことの心地よさをお届けします。



企業組合山仕事創造舎
代表理事 香山 由人
企業組合山仕事創造舎の事業を通じて、地域の「山守」として「森林の価値を高める」ことを目指しています。森林と人々をつなぐ出口として、製品開発を担う（株）山川草木を設立。



山の辺建築設計事務所
代表 宮坂 直志
地域材を使った安心・快適な住宅設計や店舗設計に取り組んでいます。ソマミチの活動を通じて、川下の視点を活かし、地域材の建材開発、販路拡大、地元への普及活動を実践しています。



クラシック一級建築士事務所
代表 山本 寛之
湘南を拠点とした国産材利用ツアーバイフォー住宅設計に携わり、2017 年 12 月からは信州カラマツ外壁材を標準とした木造住宅 kibari プロジェクトを田園都市線沿線にて展開しています。

お申込み・お問合せ

アトリエ・エムフォオ株式会社 [info@atelier-m4.com] までメールにてお申し込みください。
お問い合わせは アトリエ・エムフォオ株式会社 (0263-31-2150 担当：前田) までお気軽にどうぞ。

ツアー参加費は無料です。当日は松本駅集合→移動（約 30 分）→見学→移動（約 30 分）→見学→移動（約 10 分）→松本駅解散の予定です。移動はこちらで用意する車へ乗車いただけます。ツアーへの御参加は概ね 10 名様を予定しています。予定は変更になる場合があります。申込期限は 2018 年 7 月 25 日までとさせていただきます。